

第 52 回国頭地区中学校総合体育大会ソフトテニス競技要項

1. 主 催 国頭地区中学校体育連盟
2. 共 催 沖縄県教育委員会 国頭地区 PTA 連合会 国頭地区市町村教育委員会
3. 期 日

夏 季 総 体	令和 7 年 5 月 3 1 日 (土) 午前 8:30 6 月 1 日 (日) " 7 ・ 8 日 (土・日) 予備日
新 人 総 体	令和 7 年 1 1 月 2 2 日 (土) 午前 8:30 1 1 月 2 3 日 (日) " 6 日 (土) 7 日 (日) 予備日
4. 会 場 名護市営庭球場（雨天時待機場所：名護市営屋内球技場）
5. 参加資格
 - (1)国頭地区中体連加盟校で中体連会費を納めた学校
 - (2)チーム編成は学校単位で学校長の認めたチームとする。
 - (3)引率及び監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。
6. 企画運営 中体連ソフトテニス専門部
 渡具知佳史（羽地）諸喜田 亮（大宮）小橋川仁（東）
 阿部 朋広（名護）松田 愛海（金武）比嘉 廣也（大宮）
7. 監督会 夏季総体・・・令和 7 年 5 月 14 日（水）
 新人総体・・・令和 7 年 11 月 12 日（水）
 ◆大会要項確認 ◆協議事項話し合い ◆抽選会
8. 申し込み 夏季総体・・・令和 7 年 5 月 2 日（金） 1 5 時
 新人総体・・・令和 7 年 11 月 4 日（火） 1 5 時
 ※学校単位で、名護中学校（玉寄正人）へ提出です。
9. 競技方法 ①トーナメント形式とする。第 3 シード決定戦あり。
 ②7 ゲームマッチを原則とするが、5 ゲームもありうる。
 ③試合球は赤 M を使用する。
 ④日本ソフトテニス連盟競技規則を適用し、国際ルールで行う。
 新ルールを適用する。（平成 16 年度完全実施）
 ⑤ 監督会決定事項を併用する。

- ⑥ 団体戦チーム編成
 - ◆ 夏季総体は学校代表 **1チームのみ**の参加とする。
 - ◆ 新人総体はA・Bの**2チーム**参加できる。
- ⑦ 個人戦参加組（ペア）数
 - ◆ 夏季総体は6ペアまで参加を認める。
但し、1年生の参加の場合は、審判ができることとする。
 - ◆ 新人総体は10ペアまで参加を認める。
- ⑧ 審判は生徒審判、依頼審判を併用する。
- ⑨ 団体戦1戦目は3ペア対戦する。ただし、2戦目以降は2ペア先取で終了する。
- ⑩ シード制の採用について
 - ◆ 夏季大会は別紙参照
 - ◆ 新人大会は新報杯の結果によりベスト4をシードする。
- ⑪ 団体戦の組み合わせは、各監督で抽選し、個人戦の組み合わせは監督会でコンピューターによる抽選を行う。
- ⑫ 大会当日は晴天、雨天に関わらず **8 : 30** に監督会を行う。
- ⑬ 開会式・閉会式は実施する。

10. 監督会確認事項

- ① 選手はユニフォームを着用し、テニスシューズを履く。
- ② 背に B5 版大の学校名と苗字入りのゼッケンをつける。
- ③ 中体連の統一要項を順守する。(例、そり・染髪・パーマ等)
- ④ ごみの処理等は各学校で、必ず責任を持って持ち帰る。
- ⑤ 選手・応援のけが、負傷等は各学校で責任を持って処置する。
- ⑥ 団体戦の選手変更は監督会までとする。個人戦の選手変更は原則として認めない。但し、ケガ、病気等による場合は監督会にて確認して変更を認める。
団体戦、個人戦ともに選手変更がある場合には監督が選手変更届の提出を朝の監督会までにおこなう。また、他校との合同ペアの参加は認めない。
- ⑦ 団体戦を先に行い、試合進行は原則として対戦表の通りとする。
- ⑧ 団体戦のオーダーは毎回本部へ提出する。
- ⑨ 各監督（引率者）で安全面の配慮、貴重品の管理を行う。
- ⑩ 各学校で熱中症、雨天時（カップ、傘）の対応を行う。
- ⑪ 各学校の専属カメラマンのマナーは注意しておく。
- ⑫ ベンチには、登録されたコーチ1名が入れる。

沖 縄
青 木
屋部中

⑬南西ビル、コープ宮里の駐車場への駐車、役員駐車場（2台程度）への駐停車を禁止とする。（無断駐車、迷惑駐車がみられると、今後、大会でのテニスコート借用ができなくなります。）

※雨天時の待機場所については、室内運動場（ドーム）とする。